

2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号

07020101

1.計画名称

茅野市地域防災計画

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	平成29年度に実施した防災アセスメント調査に基づき、平成30年度に茅野市地域防災計画の大幅な改正を行った。今後は、近年全国で発生している激甚災害を教訓として、更なる防災体制の強化を推進する必要がある。
今後の重点化施策番号	2	説明	災害発生時よりも、平常時からの防災意識の高揚、防災体制の強化を進めるためには、全国的に課題となっている過剰な行政依存からの脱却が必要。その基盤の構築には、災害に強い支え合いのまちづくり条例を基礎とした、自主防災組織を中心とした体制づくりが最も効果的と思われる。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	地域防災計画の推進	おおむね順調	7月の長雨、8月のゲリラ豪雨、9月、10月の台風の通過に対しそれぞれ災害対応を行なった。それぞれの事象に対する対応は概ね問題なく処理できたと思われる。また、10月の台風の際は浸水被害の発生した地区が出てしまったが、避難者の取り残しなく避難対応を行なった。	長期間の停電時における対応。 災害時における、高齢者や要支援者、災害弱者への対応。 避難勧告、避難指示などの発令と、実際の避難のタイミング。 避難所開設の準備と、避難所を開設した後の対応について。土砂災害警戒区域内における自主防災組織の避難訓練の実施が少ない	災害時における対策拠点の検討。 近年の風水害の対策や災害が起きた後の対応の検討。 災害時における、庁内関係部署との連携の見直し。 令和元年9月に導入される排水ポンプ車の運用方法の検討。
2	災害に強い支え合いのまちづくりの推進	おおむね順調	10月に市内を通過した台風の際に、浸水被害が発生した地区との連絡を発災前から常に行なったことにより、避難の際は一斉避難ができ、避難者の取り残しなく避難対応が行なった。 近年の風水害等により多くの自主防災組織住民が個別受信機の配備を行なった。	災害時における、各自主防災組織の高齢者や障害のある方、災害弱者への対応。 自主防災組織の避難対応と、避難のタイミング。 自主防災組織防災資機材整備補助事業の活用状況に、各自主防災組織の間で大きな開きが出てきている。	災害時における、高齢者や障害のある方などの災害弱者への対応について各自主防災組織内での検討の実施。 自主防災組織での避難対応と、避難のタイミングについての検討。 区長会や、まちづくり講座での、自主防災組織防災資機材整備補助事業の説明と活用状況の説明の実施。
3					
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		

5.添付資料

別紙「施策評価シート」